

1989年10月号

1989年10月5日発行(毎月1回5日発行)

№152

あふあて

発行人/ 発行所/あふあて出版部
定価/400円 振替口座/ あふあての会 電話/

トンボ

子供の虫とり網を横取って
す早く飛ぶ夏のトンボを追いかけた
走りはじめて時
私はもう二児の母親ではなく
鋭いハンターだった

カサッととらえた感触のなつかしさ
瞬時の快感が走ったと
私はもう二児の母親に戻っていた
うろたえて二人の居所を捜す
鈍いハンターだった

網の目からんでしまった
トンボの眼をなんとかはずそうと
私の目は近視乱視
時々遠くの二人の行方を見回す
焦点狂って手元が狂う

「二人の安全の確保のために」
一匹のトンボを殺した
私の罪を隠そうと
「かわいそうだから逃がしたよ」
と上の子にウソを言うまた罪

詩 新村
イラスト 藤原

逐次刊行物

平成元年10月7日

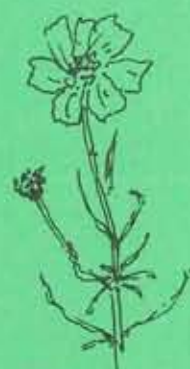
国立婦人教育会館
婦人教育情報センター



ススキ



また来耳ね



秋桜

おばさん、オバタリアンって

誰のこと？



— 特集 —

人それぞれのオバンを訪ねて
人はたいてい「オギャー」と生まれる。女
の子だからといって「オバニー」と生まれて
くるわけではない。

なのに女はいつしかオバンと呼ばれる。「オ
ッジョーサン」と「オバ」の境界線は、あ
のツルツルホッペに現れるシミのように、何
十年かのうちに少しずつ刻まれていく。
最近ではそのオバンを計るのに親切に
「オバタリアン」のチェックテストまである
ようだが、乱暴にいつてしまえば、オバ
ン化現象とは女が鏡を見なくなってしまうこ
とから始まるのではないだろうか。
何もルックスに関することだけではない。
自分と他者との距離感や社会におけるポジシ
ョンなど、自分を冷静に客観的に見ようとし
なくなるという意味を含めてである。そうな

れば、恐いもの知らず。家庭や限られた社会
において大声をあげ、他人にツバキが飛んで
いても気が付かない、というようなことにな
ってしまうのよ。

かくいう私も人ごとじゃあない。昨年長男
を出産後、それまで外をかけずり回っていた
ライターの仕事がファックスのみに切り替え
た途端、すっかりふやけてしまった。ロッカ
ーにかかったスーツに袖を通すこともなく、
バスポートを使用することもなく、毎日オダ
ンゴを食べ、ちよつとくらのシミがあつて
もそのシャツのまま外出したりします。だつ
てだれも見えないモン。こんな日々には歯
止めをかけるには、一度自分のオバンを
掘り出してみるしかないのではないだろうか。

夜明けのゴールデン街に散ったシングルラ
イフを返せとはいわないけれど、ね、オバ
ンの海におぼれてしまわないうちに、あなたも
あがいてみませんか？ それともちよつと体
重オーバーか・・・ズリッ。

杉並区

というわけで、今回の特集は、杉並区、中
野区のメンバーによるちよつと気になる「お
ばさん」考。



オバタリアンのイメージ
小松「おばさん」と聞くと、どうしても野暮っ
たく醜悪なイメージを残念ながら描いてしま
う。今流行の「オバタリアン」のイメージも
バワフルでありながら、それは完全に開き直
りで、「おばさん」にしろ、「オバタリアン」
にしろ、その世界はやつぱり暗い。

亀井 見かけのかつこう良さよりも、実用的
で、快適であることを重視する。やせ我慢
しない。生活に密着した感覚を持ち、つま
しい。

宮島 スカートから見え隠れする膝たけスト
ッキングに集約される。

藤原 明るくてパワーがあつてすごいけど、
ちよつと自己中心的かな？

オバタリアンの特長・スタイル
小松 今、私がものすごく「おばさん」しち
やつてるなあと思うのは、自分のファッション。
公園フアッシュンがあまりにも定着し
すぎて、たまに自分一人で外出する時にも、ま
だもって公園フアッシュンしてしまつて、大
騒ぎして、ヘンテコなコーディネイトをしてし
まう最近の私。切り換えが鈍つてしまつてい
るのよ。アブナイなあ。あの学生、OL時
代のルンルンキラキラのファッションは、い
つたどこへ行つてしまつたのかしら。

高橋 シラガ染めが手離せなくなったシラガ
頭、子どもに吸われて、以前にも増してベタ
ンコになった胸、たるんだお腹、・・・数えあ
げたらきりがなし。

・冷蔵庫をあけて「何をとるんだっけ」、コ
ンタクトレンズや財布はなくなすと記憶力の

低下がはなはだしい。

・スーパのレジで表示板をじつと見すえ、
高くとられると必ず文句を言い、少ないとだ
まつて。

亀井 ひざ下ストッキングにゴムウエストの
服。ベタンコ靴にショッキングバッグ。だつ
て楽なんだから。娘時代は真夏にもストッキ
ングにハイヒールで頑張つていたのに。

宮島 ママコートにズックの洗礼を受けた私
の前では「ピンク＆グレイアン」もひれ伏す。
藤原 東京は人口が多くて何着ても平気な
たいな感じがあるけど、娘のおさがりみたい
な年に合わないのを平気で着ている人がいる。

夫や男からの目

小松「おばさん」の世界を明るくする為には、
女たちの努力だけではなく、男たちの熱いま
なざしが必要。結婚後も、もつと男と女はド
キドキハラハラ危なくときめく関係でなくつ
ちやわ。（でも現実には難しい。）

高橋 めかして出かける時、夫に「どお？」
と聞くと、「もうオバサンなんだからどうでも
いいんじゃない？」と言われ、憤慨する。

亀井 夫に私のことをオバタリアンだと思
うか、とはコワくて聞けなかった。「育児中オバ
サン化していても、その後どれだけ取り戻せ
るか勝負だナ」の言は励まし、それとも？

宮島 特別な男にとつてだけ自分が女であ
れたいと思ってしまうのはオバンの証候？
藤原 夫「シワがちょっと増えたけど、オバ
タリアン度は低い」絶対そうなるって欲しくな
いし、ならないと思つてみるみたい。その期
待に答えないなあ。

町の中のオバタリアン

高橋 銀行の自動支払機でもたまたたする。
・混雑した電車のドアに立ち足はだかり、出
うとする人の波に必死に逆らつて頑張る。
亀井 ひざ下ストッキング丸見えで足を開い
て座る、ひとり言を人に聞こえるように言う
宮島 チョットー、自分と家族の話ばかり
ウケルまで繰り返さないでくれる？
藤原 人通りの多い道にショッキングカーを
置きっぱなしでおしゃべりに精を出すおばさ
ん達。

オバタリアンとしての扱いを感じる時

小松 年令とは関係なく、結婚、出産と歩
みながら、女性には知らぬ間におばさんの世界に
入りこんでしまうようだ。何故ならば、結婚
出産で女性には安定や安心感を得るけれど、そ
の代りに、夫や夫以外の男性を意識する緊張
感や機会、社会的訓練の場から遠ざかりやす
くなるからだと思う。

高橋 ランチサービスをめあてにレストラン
に行つて、それが終つたと知りガックリして
いると、アイスクリームをサービスしてくれ
た。

亀井 ひとりてブティックをのぞいても、若
い店員にチラリと一瞥つされるだけで、相手
にしてもらえないとき。

宮島 豆腐屋でアゲを一枚オマケにくれる時
オバタリアンとしてのキャラアを感じる。
藤原 同世代の男性に、年齢を聞かれて答
えると「えっ、もうおばさんじゃあーん」と言
われる時。



どんなおばさんを目指すか

杉並区

年令には抵抗できないけれど、結婚してい
ても子どもがいても、それで安心してしまわ
ないで、もつと夫や他の男性たち、あるいは
仕事や趣味やファッションに対してときめく
気持ちを持ち続けるように努力すれば、「お
ばさん度」はかなり低くなるんじゃないかな。
私にとつての理想の「おばさん」は、キザッ
ぽく言えば妻、嫁、母の役を切り換え良く演
じわけながらも、不良っばさ、少女っばさを
いつまでも持ち続けて、自分なりの色気を出
せる女性。えっ？ こういうおばさんを「オリ
ーおばさん」て呼ぶの？

杉並区

私はもう四十に手が届きそうな年である。
数年前から、愕然とするでき事が起きた。数
多い物忘れ、すぐに疲れ寝てしまふ、徹夜が
できないなど体力の衰え・・・
それに反し、お店などでつい文句を言つてし
まう図々しさ・・・これこそまさにオバサン
かしら。

でもよく考えれば、人間いつかは年をとる。
それをどうやってのり越えるのが問題。年
をとつたって頭や体を鍛えれば、若さにだつ
て対抗できる。色々経験した知識などは若い
人よりは上なのさ。

いろいろ文句がでる図々しさだつて、いか
に気持ちよく過そうとするための利用者の立
場に立つた提案なのである。

自他共に認める少し思い上がりのオバサン
は、あがきをのり越え、今いかに第二の青春

を謳歌しようかと、まるで入学前の子どもの様に胸一杯に夢をふくらませています。他人がどう思うかではなく、自分自身がいかにか納得する人生を送るかであって、年の功をバネに輝けるオバサンを目指したい?!

杉並区

娘時代、私の夢は「素敵なおばさんになること」だった。当時思い描いていたのは、趣味の良いおしゃれた住宅に住む、品の良い身ぎれいな奥様、だった。そして結婚し子を産んだ私がいつも気にして来たのは、髪振り乱したくない。だった。どちらも根は同じで見かけのカッコ良さを求めていたようだ。今の私は心掛に反してひつつめ髪、自転車こぎと泥汚れにも万全の実用第一スタイルの「母」。現実の前に甘いあこがれなんかすつ飛び、考えも変った。日々の営みを大切に、地道にしっかりと生きていくオバサンってすごい、と思う。私の母がそうだった。家の中を完璧に整え、料理裁縫も玄人はだし、車で家族の送迎。誰の手も借りずにこれを毎日たゆまず続けてゆく辛さ。一方で趣味、勉強にも余念がない。私は母を尊敬しているが、母のようになりたいとは思わない。長く狭い世界で生きて来た為か、色々な価値感を受け入れる柔軟性、社会性に欠けるのだ。一方、子育て中も仕事を続けていた義母は、母のような意味での有能な主婦とは言えないが、思慮深く大変柔軟だ。会う度様々な事を長い時間話す。母とは何がどうした、といった現実的なことしか話さないのに。私にとって「素敵なおばさん」とは義母のように「心の柔軟な人」だ。

心も、そしてカラダ、外見もいつもみずみずしくありたい。その為にも私はいろんな場所活動に参加して心とカラダに栄養を与える努力を続けるつもり。あんふあんてもその一つ。(きき過ぎてキビシイ時もあるけどね。)

中野区

四月に娘を出産し、現在、育児中です。初めて、あこがれの専業主婦となり、限りある自由時間の中で、輝いている人たちにたくさん出会って、エネルギーの増加をはかろうと思っています。仕事をしていた時は、カルチャーセンターだの地域活動だの、本当にうらやましいと思っていました。小さな子どもをかかえての生活、自分で動き出さない限り、どんどん落ちこんでゆく恐怖感、これはすごいスリルですね。あつと気がついた時には浦島太郎ならぬ、オバタリアンなんてことに。私の場合、幸い職場にもどることが可能ですが、育児は一人ではできないし、今の努力が、将来の私の姿を決定すると自分に言いにかけて、今日も「フアイト、一発!」

「おばさん」の条件ベスト10

1. 他人の事情や立場を気にかけない
2. 他人の目ばかり気にする
3. 羞恥心がない
4. 周囲や男性に対する緊張感がなく、楽をして生きようとする
5. たくましい
6. 開き直りで生きている
7. 身のこなしや態度にスマートさがない

8. 体型のくずれ。体型を保つ努力をしない
9. 夢が持てない
10. ある程度年をとれば皆おばさん「クロワッサン」四月十日号より



★みんな集まれ「子どもの城ツアー」報告
何人来てくれるか心配だったけど、9組の親子が集まってワイワイと楽しかった。遠くから来てくれた方も、仲のいい友人を連れてきてくれた方も、皆、ありがたう。いつも参加者が少なく寂しい思いをしるスタッフも今日は感激でした。次回に期待してね。秋の予定です。(松島)

●楽しかったです。郊外に引越して普段話す人といったら近所のおばさん達だけだったので久しぶりに好き勝手なことをしゃべらせて頂きました。秋川市

●一度来てみたいと思っていた子どもの城。きつかけをありがたう。文京区

●いつも「みんな集まれ」に参加しなくてはという気があったので来ました。参加数もまずまずでやっぱり来てよかった。港区

●一度来てみたいと思っていた子どもの城に来了こと、この会が知れて良かったです。今日はとても楽しめました。もともと早く来て長く遊べたらよかったです。(お弁当でももって...) 子どもが本当に楽しそうでした。世田谷区

女性学講座に

参加して

その1



大田区

あんふあんての皆さんこんにちは。私は旧い会員の井上です。八月二十六日(土)、二十七日(日)と埼玉県にある、国立婦人教育会館で開かれた、一九八九女性学講座に参加してきましたので、報告します。

国立婦人教育会館は、毎年この様な講座を主催していて、十年目になるといふことですが、今年は何の行事との都合上開催しないことになったらしいのです。ところが、それを良いとしないうちに女性学を中心として、今年も自主実行委員会形式で行なわれることになったらしいのです。(私は参加したただけなので、らしいという話しかわからない、まちがってたらゴメン)もちろん、講師(?)も実行委も手弁当です。実行委員会としては、日本の四つの女性学会(名前を覚えてません、スマン)だそうです。

初日は、開会挨拶の後、①女性学教育(その理論的実践的研究)、②マルクス主義フェミニズムのフロンティア、③長男・長女時代の性、家、墓の三つの分科会が開かれました。私は、②に参加しました。この分科会には一番人が多く入り、上野千鶴子、久場靖子、江原由美子、金井淑子、竹中恵美子、という、知ってる人はヨダレが出るような女性学の著名人が、発表するというか、議論し合うものでした。「なぜ私達が、マルクス経済学の立場から、女性学を論じようとするのか」「私

達と言ってもらっては困る、私は、マルフェミではない」「富の蓄積は不平等交換、不平等労働から」「労働を、どの様に定義しているのか」「マルフェミ、エコフェミ、ラジフェミと言わず、なぜ、トータルフェミニズムと言えないのか」「なぜ権力問題を論じないのか」「マドンナパワナなどと言われているが、活動専業主婦に未来はない」等々で、会場からの鋭い意見交換もあり、いやあ、山あり谷あり、ちょろちょろはついで、いい意味で面白くて、勉強になりました。しかしながら、話に横文字が多く、又、「専業主婦」「活動専業主婦」に対しては、きびしい雰囲気の中で、翌日の全体会の時に、「専業主婦」だ、「活動専業主婦」だと、分類したりすることが、女性学という学問の世界では、必要なものかもしれないが、女の連帯や、運動という場では、そういうことを言いたるのには無益なことではないか。たとえばベビーホテル問題で騒がれた時に東京都の公的な保育所は、出生児数の約3割であった。今でもそんなに変わっていない。たとえば、国立婦人教育会館でも、保育室はあっても、ここは、婦人の教育施設です。子供は、家において下さい」と言われる。障害のある子供を持つて家にいる人も、産後が良くない人も、子供を抱えて、老人の介護もしている人も、私も専業主婦でした。「専業主婦」じゃないか「活動専業主婦」じゃないかと言わないでくれ、そうです、私は「あんふあんて」です」というようなことを言ってしまった私でした。分科会以外に、個人研究発表として、①歴

史上のモンゴル女性像、②フェミニズム・アートの概観、③インドで出会った売春婦たちは語る、④戦前日本における女性指導者の女性観(吉岡弥生を事例として)、⑤産婆という役割のもつ象徴的意味(フランスの村落の場合)、⑥文化と女性抑圧(優生保護法と信仰をめぐる)、⑦子供を持つ、持たない選択に関する意志決定(西ドイツの若いカップルへのインタビューをもとに)というものがありました。私は参加しませんでした。が、同室の人が、③は、大変ショッキングだったと言っておりました。又、カンパも集まった様です。

その後、風呂に入り、同室の人達とダベリ(自己紹介等)して、立食パーティに参加。見回したところ、三百人位で、四割位が、学者、研究者、学生、あと四割位が、行政からの派遣者(婦人会館の館長とか、婦人問題対策室とか)二割位が、一般参加者という割合かなあと、考えておりました。

十時から、十二時までは、溝口明代さん(女・エロスの人)達といっしょに、二十人位で車座になりながら、「優生保護法とは」、「墮胎罪の徹底はなぜ出来ないのか」、「優生保護法改悪反対の時、なぜ女達は「産む、産まないは女の自由」のスローガンを徹底出来なかったのか」等々の話を(ダベリですが)延々と続けました。

翌日の九つの分科会の一つ、「子育てをめぐる女性のネットワーク(自主保育の事例から)」では何と「あんふあんて」についての研究発表が、お茶の水女子大学院生によって行われたのです。詳細は次号に書きます。

来期案

決まりました！



あんふあんででは会としての保険契約を更新する10月から新しい一年の始まり。そこで去る8月29日の来期案決定交流会で、アンケートや参加者の意見をもとにこれからの一年あんふあんでを具体的にどう動かしていくかみんなで話し合いました。参加者は浜松から出てきた人をはじめ、熊本・栃木・浜松・福岡などから転居してきた人が目立ちました。以下に結果を報告します。今回の決定事項や話し合いから、自分はこの一年どうあんふあんでしていくかそれぞれ考え実行していきます。

★決まったこと

- A. 赤字解消をめざす
現在の会員数(650名)では全員が会費をきちんと払っても月5万円の赤字。そこでその対策として次の2点を決めました。
●来期4月から会費を月額500円にする
●情報誌を年10回発行する
値上げで辞める人もいるかもしれないけれど、「昨日の私のようにあんふあんでを求めている人がまだまだいるはず」という声もあって、情報誌などを充実させ一人一人がもっと参加し考えていくということで決定。情報誌は合併号を2回(1・2月と8・9月)にし、一ヶ月分のお金をうかせることに。

これからどんな活動？

参加者の声

「情報誌」も作ってみたい

浜松市

たまたま東京に用事があつたこともあって、十カ月の娘を連れてはるばる「交流会」に参加してみた。まだ「あんふあんで」に入会して四カ月、今回は、ちょっとのぞいてみよう、くらいの気持ちで参加したのだが、活気に満ちた話し合いはとてためになり、また楽しかった。子どもがもう少し大きければ、編集スタッフに加わり「情報誌」を作ってみたい、という気持ちにもなった。できるかしら。娘も、大勢のお友だちに囲まれてとても楽しそうだった。今は「あんふあんで」を娘の成長にプラスになるよう活用したいと思うだけの私だが、将来的には、同じ気持ちの人たちと一緒に何か社会的意義のある活動もしていきたい、と思った。「浜松あんふあんで」は今年、原発映画の上映会を予定しているが、こういった活動もいっそう盛り上げていきたいと思う。

出席者の人々と言葉を交してみて、場所があつても子どもを思う母の気持ちはかわらないんだということが確認できた。また、何かを一生懸命やっている母の姿は子どもにもきつと良い影響を与えるだろう、ということも感じとれた。次の「交流会」にもぜひ出席したい、と考えている。

★これからの課題

- I. 情報誌作りに積極的に参加する
情報誌はベビーマジック等と本質的に違い、自分達で自分達なりに作っていくもの。拾い読みするだけなら400円は高いけれど、自分で編集したり投稿したり仲間集めや意見交換に利用したり、それをきっかけに多くの人と出合えることを考えれば安い。だから編集を担当する(来期アンケートでは情報誌作りに興味ある人が結構いました。地域で又は興味あるテーマで三人くらい集まればできるのでは、呼びかけを始めましょう。)
- グループの活動を報告する(グループで情報誌全体やグループ報告のページを編集できるといいし、それが無理でも、興味ある人が参考になるようグループの近況など知らせたい。)

夫も含め何かやれたらいいな

中野区

明日は朝早くから出かけなくちゃ、との晩に、バスの時間を調べ、いつもよりハリキッテ家事を済ませ、洗濯、荷物の用意をし、朝は珍しく目覚めも良く、笑顔で主人を送り出し、お弁当を作り、息子(四ヶ月)にオッパイとミルクをやり、時間に遅れてはいけないと緊張しつつ、バタバタ、アタフタと予定時刻に遅れること三分で家を出て、折からの残暑にフワフワ言いながら、やっと会場へ。母親学級で知り合った友人から誘われ、「あんふあんで」入会の手続きをし、「あんふあんで」って何だろう？とちょっと覗いてみようという気持ちで参加したので、遠く浜松から参加された方には脱帽。

参加者は二十数名。子連れが多かったので、託児室で、大声を張り上げながら、話し合いが行われました。参加された方は、皆さん目的意識があり、自分の意見をはっきり述べられ、そのパワーに思わず圧倒されました。自分たちの世代より、次の世代、そして娘たちの世代で実現できたらと頑張っているらしい、姿勢に感激し、いろいろ自分の無知を反省し、あつという間に時間が過ぎたのでした。

午前中のお昼寝がうまくできなくて、息子はぐずぐず泣いたので、ちょっぴりかわいそうでしたが、こうやって頑張っている母親たち、女性たちと出会うことができて、参加して良かったと思います。そして、先が広がってゆきそうなりやすい予感があります。「子育て講座」のような企画があれば、是非参加したいし、夫も含めて、何かやれたらいいな。

★今回不参加の人、言いたくなかった人、また集まります！

今回、参加者の中から自分はこの一年どうあんふあんでしていくかの積極的な意見が出ました。この意気込みを持続させるためにも、とりあえずミーティングを開きます。交流会で充分話し切れなかったスタッフ制のありかた(スタッフ不足は深刻な問題なので)なども含めて話し合います。是非来て下さい。日時：10月16日(月) 10時半から2時まで 場所：セシオン(丸の内線東高円寺下車5分) 弁当持参。参加希望者は13日までに事務局へ。

全国に友達の輪を広げたい！

墨田区

正直な所、すべて驚きでした。浜松にいた頃、「あんふあんで」の仲間は三十名前後だと思っていました。その少人数の中で、いつも話の原点は、「あんふあんで」の活用方法は、例えの企画、反省、どのようになら参加が増えるか？ 少ない運営費のやりくり、そして収入源をどのよう方法でするか？ etc. という話し合い。それが、そっくりそのまま、大元締の事務局でも頭を痛めていたのは、驚きでした。それに加え、会員数が六五〇名という大所帯。「これは今まで以上に、やっかいだなあ」というのが本音です。

しかし、「あんふあんで」の中の一地方グループの「浜松あんふあんで」を卒業した私の経験を生きて、今度は全国に友達の輪を広げたいと思っています。転動でたまたま事務局に近くなった事ですので、微力ながらも活動していきたいと思っていますので皆様へ本当に貫くのある方も、いらっしゃるんですヨ！ お手やわらかにお願いします。そして、今、引越して一カ月。少し自分の時間が出きたとたん、ホームシックにかかっています。皆さん、どんな声かけて下さい。いろんな人と話したい！

東



あんふあんてから

あんふあんてへ



石の上にも三年

国分寺市

私の教員生活もやつと三年目。今年は非常勤で高校の教員をしています。授業だけが生徒とのきずな。教材づくりに自分の人間性が出るのがわかります。恐いもの知らずの時代をくぐりぬけたという実感がします。

いま、恐いものが次々に見えてくるようになります。折しも「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」の批准にもない、高校では一九九二年、女子だけの家庭科から男女いっしょの家庭科が実施されます。明治以来の良妻賢母・家事裁縫教育からぬけ出し、性別にとらわれることなく、「自分探し」「生き方探し」ができる教材をつくらうとしています。

それは、子どもを産んでみたものの、可愛いとばかり思えず「わたしって母性愛がないのかしら」と悩み、女はかくあるべきなんてがまんできない、常識と自分らしさのはざまでもがき苦しみながらちよつぱり自分の生き方に自信の出はじめた私の次の課題です。世の中の常識の呪縛から解放され、自分で自分らしい生き方を決めたいよ。

三十過ぎて母親になって

川口市

八月号のあんふあんてに、「高給出産で若いお母さん達の中に入れたかった」という意見がのっていました。私も去年結婚八年目に三十三才で母親になり、同じような経験をしました。(現在も)自分では二十代のキャディキビだと、精神年齢が低いせいもあると思いついて、肌のハリとか、こちらのオババくさい体型ばかりじゃなく、なんかまぶしい、若々しいオーラみたいなものを彼女達に感じて、なかなか中に入らず、こちらは反対にどうやら暗い雰囲気になってしまっている。でもそのうち、同じ位の年で初産した二、三人とお友達になれて、なんか安心したような気持ち。本当は、年令になんかかわりなく、同じ母親という立場でもっとコミュニケーションをはかりたいのに、結婚する年令も子どもを産む年令もみんな違うんだから、だからこそもっと話をする価値があるのに、トシにへんにこだわる自分自身にも嫌悪感を感じる。いらないなことを考えたのでした。そんなわけで、私と同じように三十過ぎて母親になった方、その上まだ二子、三子と出産予定の方へ又は出産した方へ、若いモンにはまだまだ負けないというお便り下さいませ。

川口近辺、埼玉近辺にお住いの方、のんびり茶話会などしませんか。場所は一応拙宅を予定していますが、日時はあとで決めるとしてとりあえず御連絡ください。

公平

「よくいるスローテンポの世帯じみたおばさん」からの発言

川崎市

七月号を読みました。「このままではあはなりたくない」と思っている、よくいるスローテンポの世帯じみたおばさん。「安易なパート勤め」。ずいぶんカッコイイなあ、と思いました。「よくいるスローテンポの世帯じみたおばさん」は、おそらく見かけよりはずっとしたたかでしょう。魅力があり、惹かれるものがある人は、きっと、生き方が素敵だからでしょう。外見のカッコ良さを目指しているのではないはず。社会的評価というけれど、社会は、人間が創っています。その人間を産み、育てるのは誰でしょう。「よくいるスローテンポの世帯じみたおばさん」の一人である私は、首を突っこんでいる活動の多さを誇れない賢明でもないけれど、それでも、選べる道がいくつかはあることに感謝しています。世の中には、選びたくても選べる道のない人、賢明でたたかでありながらも、その道に甘んじている人達が大量にいます。そのことを、その人達の気持ちを、忘れないようにしようと思いついて、どんな生き方を選んだとしても、頭と心にぜい肉はつかないと、私は思っています。



竹内さんの手紙を読んで

杉並区

竹内さんの言うように、ぜい肉が付く付かないは、何かを始めなければ付いてしまうことではない。自分自身の心の中の心掛け次第で、外見はどうであれ、したたかに生きられる。というのは私も同感に思う。確かに心の中のシェイプアップができなくて、色んなカルチャーを始めても身に付かず空しいだけ。しかし、竹内さんが指摘している七月号の人達は、同じ「したたかに生きる」のにも自分が目指したいものに少しも近い生き方、したたかさを身に付けたいと願い、不器用ながらも自分にできないかも知れないが何とかあれもこれも頑張ってみようというおつちこちよいの可愛いパワーが溢れているのです。自分の気持ちを明確に活字で表現するのは難しい。つい、気負った言葉になる時もあると思う。彼女達の生き方の表わし方も素敵ではないか。その道に甘んじるのも一つの生き方の表現。

情報誌で私は、子育て一段落後の人生を考えようと呼びかけたら、それは、子に障害が無いから考えられるのだらうと言われたが、子に障害が有る、無いに関わらず、親であれば我が子が苦しみ、悲しむことはどんな些細なことでも自身の痛みとなるのでは。立場を越えた話ではないのか。でも、その立場になつてみないと解らないかも知れない。立場といえば、人間の抱える事情はそれぞれ様々。私の場合は子どもは健康だが、私自身健康体ではない。青い実の頃より、実が赤く染まりし美しき時を(?) 病で入院のくり返し。そ

の期間は六年間。明日は無いかと思つたが、今は四人の子の母親である。今の私は不思議な存在だが、やはり、疲弊しやすくて肩は重く息苦しい。しなやかに動きハツラツとした健康体の人を見ると羨ましくなるが、決して、健康体の人に私の気持ちが解るかしらと横目でみたくないと思う。

今、一番興味のある「家族」。そのしがらみや、互いの自我のぶつかり合いを私という個性を出しながら暖かな楽しいものにしたい。よくいるスローテンポの才能の無い私だが、おつちこちよいの可愛いパワーをフルに発揮して、より、したたかに生きるぞと……。

子育て講座での託児を経験して

横浜市

託児係といっても事前の準備もせず、事後の処理もせずでしたが、あれで良かったかな?

私は、託児係は中野の映画会でごく少数のめんどろをみた位で、今回のようなのは初めてでしたが、結構みんな泣くもんです。願わくば、泣いていた子どもたちのお母さんが、とても良い時間を過ごせたと思ってくれますように……。

今まで託児係はほとんどやっていないのになんなのですが、今回参加してみたいくつか提案したいことがあります。

状況カード(例)

うめだ	4才
今朝の様子	おんが悪い
好きなもの	人形が好き
その他	



うめだ (4才) ちゃん

1. 子どもの名札をもつと大きくわかりやすく。
託児希望者は、当日ゼッケンのような長方形の布に子どもの名前、愛称(いつも呼ばれている名前)をマジックで書いてきてもらう。それを両面テープのついた丸いスポンジみたいなので背中に四ヶ所とめる。
2. 状況カードを記入してもらおう。
大きな紙に各自のカードをはり、壁にはつておく。保育者はそれを参考に子どもと接する。
3. 託児希望者は開始三十分位前に会場へ来て、託児場所まで親子で過してもらい、子どもを場所慣らししてあげる。子どもによつて個人差があるので、いつも大丈夫という人は別に早く来なくても良いでしょうが、と勝手なことを書きましたが、いかがでしょうか。今後託児付の講座などが企画されるというのと思うし、あれこれ書いたからにはそういう機会には託児係として参加するつもりです。では、また!

信頼できるベビーシッターを

杉並区

二人目が生まれた今となってはどうしようも身動きが取れず、ただ自分の行きたいところや会いたい友達のところへ行く度に、体を酷使しています。最も、自分が行きたくて行くのだから仕方ないけど……

二人目を出産する四ヶ月前までは、ベビーシッターを、ある会社にお預けしていました。ところが、昨年の七月に、妊婦検診の為にシッターを頼んだ時のことです。いつものように私が帰宅してからその女性は帰って行ったのです。しばらくして、タンスの小引き出しなど何気なくみていたら、あるはずの指輪はないし、カルティエの財布はないし……慌ててどこかにしまったのかなあと一生懸命あちこち捜しました。でもないんです!!

あのひとしかいないと、ようやく結論を出したのがほとんど一週間後。見ず知らずの人を「ドロボー」と決めつけるのには、勇気がいらします。でも、あんまりくやしなくて交番へ行きました。その日のうちに指紋とか取りに来たり、そのひとを派遣した会社にも電話したり、採用の仕方や保証人などのことを聞いたたりして、ほんとにびびりました。一保証人なんて取っていない。ただ面接と履歴書と写真だけ……などと言うのです。その後そのひとは二十一才で、名前も偽名で雇われていたわけで、警察から逮捕の知らせを受けました。以来、怖くて、ベビーシッターさんはお断りしたくてできずにいます。刑事さんにも、「ベビーシッターなんてこれでいいの?」「みないな、ちよつとグサツとくるような

ことも言われましたけど……

べつに中傷とか営業妨害とかではないけど、ただ安心とか手頃とかぐらいで電話一本で百パーセント信頼してはいけなないと思います。夫には、「子どもが無事で良かった。」って言われました。本当に今でも怒り狂っています。

お金で済むことは簡単です。何事もなければ……でもこの事件がなければ、私はきつと今でも月に一回ぐらいは、子どもを置き去りにして遊んでいたことは間違いありません。母親になったという自覚をまだとて思いません。信頼して預けるっていうのは、大変なことだとつくづく思います。今はどこに行くのも親子三人。今となっては「教育はきちんとしています。」というシッター会社でもいざ頼もうと思っても、やっぱり心配かなと思つてやめてしまっています。唯一頼り心配かなと思つてやめてしまっています。毎日毎日タメ息ついています。結局最後は仕方ないかの堂々メグリ。友達と環境が似ているので、グチつて発散しています。どなたか信頼できるシッターさんいませんか?



地域のおんふぁんてをつくらう!

久留米市

実の子は生まれてすぐ死亡したのでないけれど、我が家に来る子どもは、小さい子を持つお母さんの孤独、子どもに賭ける期待、母子をめぐる回りのプレッシャーなどいろいろ考えて、あんなに苦しい思いをすることがあるからどこにもいけない、なに子どもがいないと、子ども中心ではなくもつとものびのび生きてほしいお母さんたち。子どもの話しかしないなんてどこかおかしいし、そういう意味では少し古いけれど五月号の梅田さんの母子一組にならないでとメインテーマのよその子につきあつてますか?は同感です。私の回りでも母子ワンセットで行動しますが、幼児がいても自分のしたいことは諦めずにしていて母を見て育つた私には異様な光景でした。自分自身としては、うちの子が1と言ふようなエゴにとらわれたくない。不定期に我が家に現われる子ども達。血のつながりはないけど、どの子も可愛いしまつすく育つて欲しいから怒ることもある。どうか、おかあさんたち困っている人がいたら助けあつたり時には迷惑かけあつたりしたつていいではないですか。ひとりでもみんなとしていてはどうにもならないけれど、みんな考えればなにか見えてくるし、親や近所の言うことが正しい訳じゃない。地域で新しいあんなふぁんてをつくらうと思ひます。筑後あんなふぁんてできるように頑張ります。

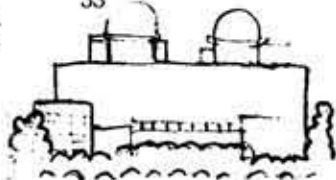


覚えていますか

チェルノブイリの

原発事故を!?

その33



映画「明日が消える」を観て

朝霞市

「明日が消える」は仙台市に住む二六才の主婦(二人の子持ち、自営業)の投書をきっかけに話を追跡する形で始まります。実際にいる彼女を追うことになってドキュメンタリータッチで原発問題の核心に迫る佳作でした。彼女の父親は原発関係の労働者で(建設関係だから、ジブシーと呼ばれる下層の労働者よりは身分は上と思われが)五二才にして全身ともいっていい程のガンの原因で死亡したのです。日頃、原子力発電所は役に立つ。有意義な仕事だ。安心だと信じ切ること一家中の生計を成り立たせていた父の死によって、彼女は淡々と「結局、私も父も電力会社に裏切られたことになるんですね」と語り始める。

今までの、わが子大事・自分の口に入る食物の安全性追求・生活派といったトーンの原発・告発の映画にはないある種、清々しい程の底の暗さを感じる映画です。

二六才の主婦である彼女は、自分の生活以前に、自分をここまで育ててくれた父親の

存在そのものがガタ、ガタと音をたててくつれてゆくような空しさとかやじさとか向い合っているかのような老成した眼で、じつと原子力発電所と周りの海をみすえている。父親は恐ろしい放射能を撒き散らす手先と市民から弾がイサれてもいい立場であり(加害者)、又、働くという意味では、身を死に至らしめるキケンな仕事をした。それに対して雇い主は沈黙したままで、非を認める訳でもない(被害者)。そういつた二重性が今の日本の社会のすみずみまではりめぐらされていることを今さらながらに鋭く問いかけている。

映画の最後で、運動で洗脳されたのでもなく主人公の彼女は、ボツリ、ボツリと語る「誰かが快適なくらしを続けてゆく影で、誰かが殺されてゆく」。そういうことはなくしたい。私たちの子ども何でも便利な毎日から始めるのではなく、少々不便でも他の人を踏みつけにせず、生活力をつけてたくましく生きてゆきたい」といったようなことを語る。私にしても、恐らく、こういう単純なことを忘れず、常に続けることが大きな政治的選択や(仕組み)を生きてゆく人間と自然を共生させ、人間同士がお互いをつぶしあうことのない生活の一步だとしみじみ思い直す次第。やはり、チェルノブイリ以後、又、又、忘れっぽいあなた達、私達は、「いつ、明日が消えてもおかしくない」と真夏の夜のホラー映画よりもさらにゾーとする事実からすべてを始めたい。



情報コーナー

★講演会へのお誘い

働く女性の子育て論「母親って何?」市川市の自主サークル「女性セミナー」が、「わいふ」の田中喜美子編集長をお招きして講演会を開きます。

子育てを一身に背負っている現代の母親はあふれる情報を前に、これでよいのか、という揺れているのではないのでしょうか。本当の意味での豊かな子育てとは何でしょう。ご一緒に考えてみませんか。

日時 10月17日(火) 10時~12時
場所 市川大野パークハイツ

(JR総武線西船橋で武蔵野線乗換え
市川大野駅下車 徒歩約10分)

◆託児あり

(犬伏)

★行って来ました!「ブックス家族」へ

夫婦、親子、老いなど家族の問題に関する本ばかりを扱う本屋さんがオープンしたのでさっそく、子連れで行って来ました。

お店を説書相談、通信販売、催しの案内などを通じて家族、男女問題を考える人たちの情報交換の場にしたいそうです。月刊誌「家族」も発行して通信購読ができます。

問合せ 730 広島市中区白島北町16の25
0822(211)0266 (有)家族社

★ミニミニ手作り教室(託児付) 始めます。
月一度、二時間位で、染めもの、おもちゃ、季節のもの(クリスマスなどの小物など)をみんなで作ります。ストレス解消、情報交換の場にもなれると思います。

そして、問題の託児なのですが、どなたか「私やってあげる！」という方がいらつしゃるとありがたいのですが……。私は今、二才の女の子がいます。

興味をお持ちになった方、ぜひご連絡下さい。お待ちしております。

●いつも情報誌を頼んでいる印刷屋さん(東京都企画)が、あんふあんで用の原稿用紙を作ってくれました。ちゃんと情報誌の通り縦20文字横33行になっています。これから充分活用していきます。

●情報紙作りをやってみたい人、入会の時渡したグループリストの裏面に作り方の説明が載っているのを改めて見て下さい。時間の余裕があればもっと楽にできますよ。

ヘスケジニールメモ

10月11日(木) 切手貼り (事務局)

10月16日(月) ミーティング(東高円寺)

10月18日(水) 平日あんふあんで

★西武新宿線下落合駅前のせせらぎの里公園に行きます。集合11時。弁当・水筒・着替え・敷物持参。雨天中止。申し込みは前日3時までに事務局へ。

10月28日(土) 土曜あんふあんで (神楽坂)

11月6日(月) 11月号送付作業 (神楽坂)

●保育園に関する原稿募集！これから保育園に娘を預ける予定の私、園長先生の姿勢によってずいぶん保育内容がちがうと聞きますが、自然児に育てたい私に何かアドバイスを！特集を組みたいので、預ける前の注意や苦勞話し、食事やおやつの内容(安全な食品の使用なども含む)、保母さんや親との人間関係、保育園反対など、11月末までに事務局へ。

●12月号は市川グループ担当。近くの人手伝ってノ。

★手作り化粧水「すぎな」が発売されました。原材料は清浄な地で採集したすぎなと納米焼酎、グリセリンで完全無添加です。クレヨンハウス等で1000入千三百円で販売予定です。あんふあんで会員の方には、千円にて特別販売致します。問合せ先は、

編集後記

○ごめん、きょうもオダシゴを食べてしまった。オバンの海は、暗くて深い。(宮島)
○子供の騒ぐ中の初作業は大変だったけど一つのテーマで話し合えて満足です。(小松)
○まずは「始めのいっぽ」ですね。最後には泣く子を背おって汗かくでした。(藤原)
○身近なテーマだけに皆が入りとても楽しかった。新人二人の活躍に拍手。(亀井)
○カット描きやレイアウトする事は、オバンにとって楽しく充実の日々でした。(高橋)

事務局から

☆当会について詳細を知りたい場合、封書にて、郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記し切手四百円分(なるべく少額切手で)を送って下さい。宛先は表紙上段に記載。
☆入会希望の場合は、なるべく六カ月(二千四百円)以上まとめて郵便局の振替口座で払い込みを。口座番号は表紙上段に記載。なおTELもお忘れなく。
☆事務局の電話受付は原則として月々金曜の1時から3時半です。御協力を。
☆会費の振り込みを忘れていらっしゃる方は至急振り込みを/休会、退会も必ず連絡をください。